

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価 【様式集】

## ◆自己評価

- スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）
- 事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

## ◆外部評価

- 外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）
- 外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

## ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	鈴木ヘルスケアサービス (株)	代表者	鈴木 則成	法人・事業所の特徴	ご利用者の地縁を守り、慣れ親しんだ地域・居場所で生活を続けられるようお手伝いします。ご本人の思いや願いに寄り添い、24時間365日「その人らしい暮らし」を支え、「通い」「訪問」「お泊まり」の3つの基本サービスを組み合わせご利用いただけます。また、どのサービスにおいても、顔馴染みのスタッフがサービスをご提供するため、知らないスタッフが急に自宅に来たなどという不安もなく、安心してご利用いただけます。
事業所名	小規模多機能ホーム 鈴の郷	管理者	常 奈緒美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	管理日誌の役割分担の明確化を図るよう、互いに声かけを行う（フロア担当中心に）ダブルチェック、朝のミーティングで声出し確認を行ない、変化のある複数訪問の関わり方に各自が責任を持って行なう。	日々の変化に対する情報共有、対応は慣熟してきた物の、利用者様に対する基本方針、中長期的目標の見直しができている。	利用者のサービス内容にばかり目が行っているが、職員の定着やスタッフ間の関係に対しても評価・改善すべきではないか。	ケース会議として、担当者を中心に各利用者様のサービス内容の統一を図り意見を出し合う中で、各スタッフの思いを聴き合い、鈴の郷全体の意思統一を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	入浴等、重度の方に対しても安全に入ってもらえるよう今回リフト導入の検討→実施。光熱費削減の為に南側の窓ガラスのレースカーテン設置を検討する。	リフト・カーテンの設置により、利用者の過ごしやすい環境への向上となる。	特になし	事業所に入りづらい点に対し鈴の郷の手作り看板や花壇園芸によって、少しでも気軽に出入りできる環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のサロンへの参加。	何人かの利用者様に包括主催の地域サロン（ぴーちくぱーちく）に参加いただいたものの、慣例化とならず。	特になし	地域サロン参加の慣例化、複数のサロンへの体験参加。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、各利用者様の地域との関わりを支援していく。緊急時への対応の強化を行っていく。地域事業に参加していく方向。	地域の避難訓練への参加や地域、近隣学校の催し物の見学等行う。	特になし	鳥居本だけでなく、各地域に住まわれている利用者様の緊急事態への対応を検討する。 運営推進会議にてこれらの活動も報告していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	家族の参加率を上げるよう参加していただける内容を検討していく。	達成できず。	特になし	随時活動報告を発表していく。 運営推進会議毎にサービス評価のテーマを分けて検討していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>備蓄を準備、防災グッズ等 災害に対する消防団の方から取 組や地域での関わり方等声を聞 く。</p>	<p>事業所避難訓練だけでなく、地域 の消防訓練にも参加できたが、組 織として連携が取れていない。</p>	<p>防災グッズの準備（ヘルメット・ 食料備蓄） とりわけ防災頭巾の準備 防災指導を地域の防災士と開催 しては</p>	<p>防災士さんと連絡を取り、勉強会 を企画する。 地域より安心して避難できる場 所として頼られているので十分 な対応を。</p>
----------------------------	--	---	---	---

